



# 12月 定例会

補正予算や条例改正など32議案を可決（同意、採択）し、請願1件を不採択としました。市政一般質問においては、18名の議員が質問を行いました。

## 補正予算

約8億2千万円を追加する一般会計の補正予算を可決したほか、11件の一般・特別・企業会計の補正予算を可決しました。

### 一 一般会計

一般会計の歳出増の主なものは、障害福祉サービス事業の報酬単価改定等による介護給付費・訓練等給付費の増（3億1,973万円）や、生活保護対策事業の被保護世帯の増加や母子加算復活による増（1億7,746万9千円）などです。そのほかの主な事業は次のとおりです。

#### 新型インフルエンザ

##### ワクチン接種助成事業

(6,767万円)

新型インフルエンザワクチンの接種費用を、低所得者に対しては全額、就学前幼児に対しては一部助成。



#### 中心商店街対策事業

(314万6千円)

下駅通り商店街が商店街の活性化を図るために実施するアーケード改修事業（LED照明、屋根改修等）に対し補助金を交付。

#### 緊急雇用創出事業

(340万円)

開発データ入力事業や市有地等環境整備事業など6人の雇用を創出。（平成21年度延べ雇用者数99人）

### 二 特別会計

#### 国民健康保険事業特別会計

(131万3千円)

平成22年度より国民健康保険税のコンビニ収納を可能にするため、対応システムの改修。

### 三 企業会計

#### モーターボート

競走事業会計

(19億3,906万7千円)

舟券の売り上げ増とそれに伴う関連経費の増、GI 58周年記念競走の広告宣伝費の増など。

## 条例

議員提案1件を含む7件の条例改正案を可決しました。主なものは次のとおりです。

### 大村市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例

議員提案で市議会議員の12月期の期末手当を減額。同様に市長提出議案で市長ら特別職、一般職の期末・勤勉手当を減額。

### 一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例

人事院勧告に基づき一般職員の給料表改定、時間外勤務手当の割増改定と代休時間の新設、平成22年6月まで実施予定の職員給与の独自カットを同年3月で終了。

審査の付託を受けた総務委員会では、給与の独自カット期間の3カ月前倒しの理由について質問し、理事者から「人事院勧告に基づき給与改定により、予定していた4億5,000万円

の削減効果額を3月までに達成できる、また前倒しすることにより職員のモチベーションも引き上げられる」との答弁がありました。

### 大村市税条例の一部を改正する条例

オフィスパーク大村への企業立地を促進するため、固定資産税の減免期間を平成23年3月31日まで延長。

### 大村市犬条例の一部を改正する条例

犬又はねこを引き取るべき場所が、県保健所（諫早市）、畜犬管理所（大村市）のみになり、大村市役所、出張所で引き取ることができなくなりました。

※畜犬管理所：長崎県大村市森園町1446（清掃センター横）

